

活動報告書

平成 26 年 3 月 25 日
JAPAN INSTITUTE
Digital Docks Laboratory – MM
事務局

- ①グループ名： Digital Docks Laboratory – MM
- ②提案名： 第 2 回 U35 CREATORS JAPAN EXHIBITION
- ③助成を受けて行った活動の時期及び内容

活動時期：平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 3 月 20 日

- ・事業企画立案・渉外調整期間 平成 25 年 10 月 1 日～12 月 30 日
- ・DIGITAL MEDIA CREATION ショート作品全国公募期間：平成 25 年 11 月 15 日～12 月 13 日
- ・第 2 回 U35 CREATORS JAPAN EXHIBITION 「みなとみらい映像大食堂・・・只今実験開店中！」
みなとみらいギャラリー全スペース 開催期間：平成 26 年 1 月 5 日・6 日（搬入日 1 月 4 日）
- ・次年度に向けた企業・団体・次世代達等との連携構築期間：平成 26 年 1 月 10 日～3 月 20 日

実施内容：「日本次世代クリエイター達の挑戦をみなとみらいから国際社会・日本全国へ発信しよう！EXHIBITION が LABORATORY！展覧会が先端実験場！みなとみらい只今実験中に立ち会おう！」をテーマに、本グループの次世代クリエイター達のメディアアート作品の展示と共に日本全国から応募されたメディアクリエーションの入選作品と推薦作品や、関東圏の次世代ミュージシャン PV 映像、EU・中東欧・南米各国のアートアニメーションやチェコ共和国の次世代クリエイター映像作品を上映を通じ、日本次世代の総合力と国際水準を広く伝える事業として実施致しました。

●プログラム内容

2014.1.5 sun.	プログラム	2014.1.6 mon.
11:00 ~	J-MUSIC ホットバーベキューコース ギャラリー A-①: U35+U20 STATION LIVE GRAND PRIX 2013 YOKOHAMA U20 準備大会&プレアコースティックライブ ドキュメンタリー映像 ギャラリー A-②&③&④: J-MUSIC - PROMOTION VIDEO - I・II・III ギャラリー C: J-MUSIC - PROMOTION VIDEO	
13:00 ~	メディアクリエイターみなとみらい御前コース ギャラリー A-①&②&③: U35 CREATORS JAPAN EXHIBITION 2013 入選・推薦メディアアート作品 ギャラリー C: U35 CREATORS JAPAN EXHIBITION 2014 入選・推薦メディアアート作品 津島岳央・岩崎宏俊・Myamo・山口勇貴・近藤弘康	
15:00 ~	チェコアニメーション・ビーフゲーラッシュコース ギャラリー A-①&②: アウレル・クリムト/ショートアニメーション・長編アニメーション Fim FARUM 2 ギャラリー A-③: チェコトータルアートセミナー アウレル・クリムト講義ドキュメンタリー ギャラリー C: FAMU a ANIfilm ショートアニメーション	
17:00 ~ (5日のみ)	インターナショナルディナーコース 映像提供: FFIAK 神奈川国際アニメーション映像フェスティバル ギャラリー A-①: ペルー共和国 ショートアニメーション ギャラリー A-②: ウルグアイ東方共和国 ショートアニメーション ギャラリー A-③: ドイツ連邦共和国 ショートムービー&アニメーション ギャラリー C: チェコ共和国 クラシックアニメーション 1947 ~ 1991 ギャラリー B: 中野圭「MM-(Minimal and algorithm) みなとみらいの春」 機材協力: ローランド株式会社	
★1.5 sun. 14:00 ~ギャラリー C: ドキュメント只今実験中 part. 2 公開収録プログラム 「みなとみらい文化産業化への次世代作戦会議」を実施します。		

● 会場風景



アルミ箔と映像の実験ブース
「アルミ de アート」



アルゴリズムによる音楽と映像の実験ブース
(機材協力: ローランド株式会社)



● 「みなとみらい文化産業化への次世代作戦会議」 公開収録実施 1月5日 14:00～18:00



U35 次世代層を中心とする多ジャンルのアーティスト・メディアクリエイター・サウンドアーティスト・デザイナー・音楽家・映画監督・プランナー・ディレクター・教育機関従事者・大学生、等々がみなとみらいギャラリーに集まり、みなとみらいエリアに日本全国の次世代力を結集させ、自らが活躍する場を創り上げる為の作戦会議を公開収録方式で行いました。

- ・みなとみらいエリアで創出する次世代文化産業とは何か？
 - ・国際社会への発信力を高める為のクリエイションとは？
 - ・ジャンル横断型の次世代総合力の結集を行う仕組みとは？
 - ・次世代育成資金を獲得する為の画期的アイデアとは？
 - ・企業・団体との連携の可能性とは？
- …等々 4 時間に渡り熱気溢れるディスカッションが行われ、ここで提案されたアイデアはその精度を高めた上で今後の事業企画へ反映してゆきます。

④ エリアマネジメントにおける効果

国内・海外の次世代メディアクリエイションをみなとみらいに集結させる事によって、このエリアに若々しい創造性を芽生えさせます。そして、このエネルギーな創造性を次世代自らが企画立案・制作・実行し、次世代達の実験・活躍の場を継続的に形成する事により、みなとみらいエリアの包容力と先駆性を国内外に広める素地が今回の事業を通じて構築できました。

⑤ 今後の展望や広がり

本事業を通して、アルミニウム業界団体、機材メーカー、横浜の市民活動団体等々との関係が新たに構築されました。そこで、今後はみなとみらいエリアを中心とする横浜市内の企業との関係を構築しながら、メディアアートの敷居の高さを感じさせず老若男女幅広い世代に親しまれ、更には国際進出展開の具体策含めた企画立案と調整作業を次世代チームが中心と成り実行してゆきます。

【連携事業】

- ・ 第 1 回 U35 JAPAN PROJECT - U35 JAPAN AWARD ノミネート集合個展「10 neural circuits」実施
横浜赤レンガ倉庫 1 号館 2F 全スペース 平成 25 年 11 月 19 日～ 24 日
- ・ 第 2 回 U35・500 ARTSITS JAPAN EXHIBITION & 選抜大型作品第 2 回 U35 ART FREEDOM EXHIBITION 実施
横浜赤レンガ倉庫 1 号館 2F 全スペース 平成 25 年 12 月 25 日～ 30 日
12 月 25 日：音楽と美術の融合実験「不安との対峙」ミニコンサート
12 月 25 日：大型作品選抜アーティスト公開作品プレゼンテーション
- ・ 優秀選抜大型作品展 第 2 回 U35 ART DOMAIN EXHIBITION 実施
サブウェイギャラリー M・みなとみらい駅構内 B3F 平成 25 年 12 月 25 日～ 30 日
12 月 25 日：次世代トークセッション

収 支 決 算 書

団体名 Digital Docks Laboratory-MM

1 収入

項 目	金 額	説明 (負担者及び負担方法等)
交付された助成金 (A)	¥500,000	
自己資金	¥539,501	JAPAN INSTITUTE自己資金
合 計	¥1,039,501	

2 支出 (助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
機材レンタル費	1式		¥306,990	展覧会用機材レンタル等
会場レンタル費	3日		¥63,315	みなとみらいギャラリー (減免措置により減額)
会場設営費	1式		¥90,693	みなとみらいギャラリー 展覧会設営
運搬費	1式		¥118,840	機材・作品運搬 (搬入出等)
編集費	1式		¥95,235	上映作品・展覧会掲示物 等の編集
映像撮影編集費	1式		¥100,905	会場撮影
WEBデザイン制作編集費	1式		¥63,000	当該事業の公式WEBサイト デザイン制作
印刷費	1式		¥119,300	チラシ・ポスター印刷・ 印刷物デザイン
郵送費	1式		¥57,200	郵便・メール便等
その他の雑費	1式		¥24,023	消耗品等
合 計 (B)			¥1,039,501	

※詳細は別紙の事業費支出一覧をご参照下さい。

3 決算後の助成金の額

【みらいコース】

(1) (A) ≤ (B) × 4/5の場合	(A) の額	¥500,000.-
(2) (A) > (B) × 4/5の場合	(B) × 4/5の額	¥ .-